



平成 29 年 12 月定例会

# 大館市議会会議録 (第 5 号)

自 平成 29 年 11 月 28 日 開会  
至 平成 29 年 12 月 14 日 閉会

大 館 市 議 会

11月28日（火曜日）

第1日目

---

平成29年11月28日（火曜日）

---

## 議事日程第1号

平成29年11月28日（火曜日）

開 会 午前10時

議長報告（文書）

第1 会議録署名議員の指名

第2 会期の決定

第3 議案等の上程（一括）

説 明

質 疑

散 会

---

## 本日の会議に付した事件

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案等の上程

1. 報 第17号 専決処分の報告について（和解及び損害賠償について）
2. 認 第6号 専決処分の承認について（平成29年度大館市一般会計補正予算（第6号））
3. 認 第7号 専決処分の承認について（平成29年度大館市病院事業会計補正予算（第2号））
4. 議案第96号 大館市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案
5. 議案第97号 大館市市税条例の一部を改正する条例案
6. 議案第98号 大館市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
7. 議案第99号 大館市農業集落排水施設に関する条例の一部を改正する条例案
8. 議案第100号 大館市就業改善センターに関する条例の一部を改正する条例案
9. 議案第101号 大館市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案
10. 議案第102号 大館市営住宅管理条例の一部を改正する条例案
11. 議案第103号 大館市北地区コミュニティセンターの指定管理者の指定について
12. 議案第104号 大館矢立ハイツの指定管理者の指定について
13. 議案第105号 大館市プルミエ比内及び大館市比内軽食・直売コーナーの指定管理者

の指定について

14. 議案第106号 大館市小規模水道施設等の指定管理者の指定について  
15. 議案第107号 市道路線の認定について（東台6丁目9号線）  
16. 議案第108号 大館圏域定住自立圏形成協定の締結について  
17. 議案第109号 平成29年度大館市一般会計補正予算（第7号）案  
18. 議案第110号 平成29年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）案  
19. 議案第111号 平成29年度大館市介護保険特別会計補正予算（第2号）案  
20. 議案第112号 平成29年度大館市病院事業会計補正予算（第3号）案

---

出席議員（28名）

1番	石垣博隆君	2番	日景賢悟君
3番	武田晋君	4番	小畑淳君
5番	虻川久崇君	6番	中村弘美君
7番	畠沢一郎君	8番	伊藤毅君
9番	阿部文男君	10番	小棚木政之君
11番	藤原明君	12番	田村儀光君
13番	佐藤久勝君	14番	仲沢誠也君
15番	斉藤則幸君	16番	小畑新一君
17番	明石宏康君	18番	佐々木公司君
19番	吉原正君	20番	佐藤健一君
21番	田中耕太郎君	22番	相馬エミ子君
23番	岩本裕司君	24番	佐藤眞平君
25番	富樫孝君	26番	菅大輔君
27番	佐藤芳忠君	28番	笹島愛子君

---

欠席議員（なし）

---

説明のため出席した者

市	長	福原淳嗣君
副市	長	名村伸一君
総務部	長	北林武彦君
総務課	長	阿部稔君
財政課	長	桜庭寿志君
市民部	長	成田政則君

福 祉 部 長	安 保 透 君
産 業 部 長	一 関 雅 幸 君
建 設 部 長	嶋 田 均 君
会 計 管 理 者	目 時 俊 一 君
病 院 事 業 管 理 者	佐々木 睦 男 君
市立総合病院事務局長	斎 藤 進 君
消 防 長	三 浦 勝 彦 君
教 育 長	高 橋 善 之 君
教 育 次 長	佐々木 修 君
選挙管理委員会事務局長	小 林 淳 一 君
農業委員会事務局長	三 澤 勝 君
監 査 委 員 事 務 局 長	金 子 広 英 君

---

事務局職員出席者

事 務 局 長	萬 田 清 一 君
次 長	畠 沢 昌 人 君
係 長	長 崎 淳 君
主 査	伊 藤 雅 孝 君
主 査	高 橋 琢 哉 君
主 査	北 林 亘 君

---

---

## 午前10時00分 開 会

- 議長（佐藤久勝君） これより、平成29年12月大館市議会定例会を開会いたします。  
出席議員は定足数に達しております。  
よって、直ちに本日の会議を開きます。  
本日の議事は、日程第1号をもって進めます。  
諸般の報告は、お手元に配付しております文書により御了承願います。

---

---

### 日程第1 会議録署名議員の指名

- 議長（佐藤久勝君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。  
本定例会の会議録署名議員は、11番 藤原明君、12番 田村儀光君、14番 仲沢誠也君を指名いたします。

---

---

### 日程第2 会期の決定

- 議長（佐藤久勝君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。  
お諮りいたします。  
本定例会の会期は、本日から12月14日までの17日間と定めたいと思います。  
これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

- 議長（佐藤久勝君） 御異議なしと認めます。  
よって、会期は本日から17日間と決定いたしました。  
なお、会期中の会議予定につきましては、お手元に配付しております日程表のとおりでありますからさよう御了承願います。

---

---

### 日程第3 議案等の上程

- 議長（佐藤久勝君） 日程第3、議案等の上程を行います。  
報第17号、認第6号、及び同第7号、並びに議案第96号から同第112号までの以上20件を一括上程いたします。  
提出者の説明を求めます。

〔市長 福原淳嗣君 登壇〕

- 市長（福原淳嗣君） 12月定例会に当たり、提出議案の説明に先立ちまして、9月定例会以後の主な事項について、概要を御報告申し上げます。

#### 1、台風18号による被害状況等について。

去る9月18日、台風18号の影響により、早朝から夕方まで市全域で暴風が断続的に吹き各地

で被害が発生しました。市では、前日の17日午後3時に災害警戒対策室を設置して警戒に当たり、秋田県総合防災情報システムからの情報をもとに当日夕方まで3回、台風情報をSNS等により発信したほか、市内一円で消防による警戒広報を実施いたしました。被害状況は、停電が約500戸、住家破損が2棟、非住家破損が7棟、倒木が41件、農業用パイプハウス破損が16棟で農作物等の被害額は約850万円となっております。人的被害が出なかったことが何よりであり、各防災機関の活動と市民の冷静な対応に深く感謝申し上げます。

## 2、秋田銀行・みちのく銀行との地方創生に係る協定締結について。

市は、金融機関との積極的な連携及び協力により、地方創生に関する総合戦略の事業を効果的かつ円滑に進めることを目的に、株式会社秋田銀行及び株式会社みちのく銀行とそれぞれ協定を締結いたしました。秋田銀行とは、8月29日に大館市総合戦略協創協定を締結し、移住・定住や交流の促進に向けた事業に重点を置き、サテライトオフィス体験事業、ふるさと納税・企業版ふるさと納税獲得事業、クラウドファンディング活用事業、大館版生涯活躍のまち推進事業などについて連携していくこととしました。また、9月25日には、みちのく銀行と地方創生に係る包括連携協力に関する協定を締結し、働くパパママ応援企業認定事業所や平成30年度認定予定の認知症サポート認定事業所とその従業員に対する融資金利の引き下げのほか、公民連携による廃校利活用の推進、3D観光の推進や地域間交流の促進を主な取り組みとして連携していくこととしたところであり、今後も両行と緊密に連携しながら地方創生と地域経済の活性化に努めてまいります。

## 3、大館市総合戦略の進捗状況について。

平成27年度から5カ年計画で取り組んでおります総合戦略について、4つの基本目標ごとの主な内容と今年度末での達成見込みを御報告いたします。基本目標1点目の健やかに次代を育む施策の推進（ひとづくり）では、子育て世代包括支援センターの設置、大規模な集客型スポーツイベントの開催などに、2点目の支援連携と新たな地域社会の形成（暮らしづくり）では、健診の受診率向上を目的とした健康ポイント事業、地域ケア個別会議の開催などに、3点目の地域の特性を活かした産業振興（ものづくり）では、重点戦略作物による園芸メガ団地整備、次世代経営6次産業化などに、4点目の交流人口の拡大とAターン・定住促進（物語づくり）では、地域資源の海外や首都圏での情報発信とPR活動の実施、訪日外国人旅行者数の増加に向けたインバウンド体制整備などに取り組んでおります。その結果、41項目におけるKPI（重要業績評価指数）の達成見込みは、達成が13指標31.6%、おおむね達成とある程度達成がともに4指標9.8%となっており、おおむね順調に推移しております。また、計画した事業のほぼ全てにおいて取り組みを進めており、早い段階での成果が期待されるところであります。今後も限られた行財政資源を有効に活用し、より効率的な運用を図り、少子高齢化に的確に対応しながら人口減少の抑制と地域の住みよい環境を確保し、持続可能なまちづくりのため、これまでの成果を踏まえつつ、引き続き新たな施策に取り組んでまいります。

#### 4、保育士確保の取り組みについて。

保育士不足は喫緊の課題であり、今年度から新たに2つの事業に取り組んでいるところであります。1つ目の保育士人材バンク事業は、将来の担い手に対し研修や就労の情報を提供するもので、現在、保育士養成校の学生など7人が登録しております。2つ目の大館市私立学校協議会保育士雇用促進事業は、同協議会のメンバーによるキャラバン隊が市内の中学校・高校、近県を含めた保育士養成校などに出向き、本市の保育環境や助成制度などをPRするものであり、これまで市内14校、市外21校の計35校を訪問しております。保育士養成校からは、地域に残る学生が少ないことを憂慮する声が多く聞かれ、今後も県内を初め、青森・岩手・宮城の養成校などとさらに連携を密にし、保育士の確保を目指してまいります。

#### 5、敬老事業について。

8月26日から9月29日まで、市内16会場で敬老会を開催し、対象者1万2,115人の26.1%に当たる3,162人に参加していただき、多年にわたり社会に尽くしてこられた方々の長寿をお祝いいたしました。今年度は私が出席できない会場において、お祝いのビデオメッセージを放映させていただき、参加者の方々から好評を得たところであります。御協力いただいた婦人会や町内会などの皆様には心から感謝申し上げるとともに、今後も地域の皆様と協力しながら参加しやすい環境づくりに努めてまいります。また、昨日27日には合同金婚式を開催し、結婚50年という長い歳月をともに歩んでこられた22組の御夫婦をお祝いしたところであります。

#### 6、ねんりんピック秋田2017大館市交流大会について。

9月9日から11日にかけて開催された本大会では、ソフトテニス・ゲートボール・ソフトバレーボール競技が行われ、選手・役員を含め延べ5,892人が会場を訪れました。各競技の開始式では、大館曲げわっぱ太鼓や大館囃子を披露したほか、各会場では名産品販売コーナーや秋田犬ふれあいコーナーなどを開設し、来訪された方々に楽しんでいただきました。また、中山の梨狩りや、たんぼづくり体験を盛り込んだ市内観光ミニツアーなどにも多くの方が参加され好評を博したほか、大館神明社の例祭と日程が重なったこともあり、大館の活気あふれるひき山も楽しんでいただくことができたものと考えております。本大会を盛会裏に終了することができましたのは、オール大館でのおもてなしによるものと考えており、御協力いただいた多くの市民、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

#### 7、大館・北秋田地域医療推進学講座の活動報告会について。

本講座は、平成25年10月、大館・北秋田地域の医療を充実させることを目的に、県の補助を受けて弘前大学大学院医学研究科内に開設したものであります。ことしで5年の節目を迎えたことから去る10月7日に活動報告会を開催いたしました。当日は佐竹知事を初め、弘前大学学長・市議会議長・厚生常任委員の皆様にご臨席いただき、市民の方々約130人が参加されました。報告会では、本講座の和嶋直紀准教授から講座が目指す医療人材の育成、診療ネットワークの構築、地域医療の研究の3分野について報告があったほか、高校生が医師の仕事を経験す



るフューチャードクターセミナーの開催により、本県から弘前大学医学部への進学者が確実に増加したことも報告されました。また、佐々木賀弘教授からは、がん予防を含めた地域医療の今後の課題や提言について講演をいただきました。本講座の設置が地域医療の充実と安定化につながっていると確信しているところであり、今後、設置の継続について県と協議しながら議会に御相談させていただきたいと考えております。

#### 8、平成29年の農業について。

水稻は、東北農政局によると、県北の平成29年産水稻の予想収穫量は10アール当たり556キログラムと前年比17キログラムの減少、作況指数は全県と同じ99で平年並みとなっております。また、JAあきた北管内の1等米比率は今日15日現在、前年比5.4ポイント増の91.1%、本年産米の生産者概算金については、あきたこまちで昨年を2,000円上回る60キログラム当たり1万2,800円となりました。野菜については、アスパラガスは6月上旬の低温や7月以降の少雨・高温に伴う害虫被害、8月中旬以降の低温の影響で収穫が平年より早く終了したことなどにより、出荷量は前年比約2割の減となりました。単価は平年より高かったものの、販売額は前年比1割以上の減となりました。枝豆は、6月上旬の低温によりわせ品種の生育がおくれ出荷も1週間程度おくれたことにより、生育が進んだ中わせ品種以降と出荷時期が重なり、収穫が追いつかない状況が見られました。また、中晩生品種以降は大雨の影響により徒長傾向となり、着きょう数・収量ともに減少しました。単価は前年比約1割高、出荷量は園芸メガ団地等の整備により作付面積が拡大したことから前年比約1割増となり、販売額は前年を上回りました。トングリは、集中豪雨や強風等によりわせ品種に一部脱粒被害、なかて・晩生品種に一部倒伏被害があり、出荷量は1割減の見込みとなっております。なお、地理的表示(GI)保護制度に登録された「大館とんぶり」は、ブランド化を図るべく販売に努めており、単価は前年より1割ほど高めに推移しております。山の芋は、6月上旬の低温の影響で生育がおくれが見られ、8月下旬の肥大期初期に葉の量が確保されましたが、9月の低温により葉の黄化が10日程度早まったことから肥大に影響し、小玉傾向となっております。出荷量は平年を下回る見込みであります。果樹については、リンゴは生育初期の低温・少雨の影響により小玉傾向であり、成熟期の天候不良により着色不足が見られ、出荷がおくれております。梨はわせ種の幸水が生育初期の低温・少雨の影響により小玉傾向だったものの、出荷量は平年並みとなっております。中晩生種は小玉傾向と台風の影響もあり出荷量は平年より少なくなっております。

#### 9、水田農業政策について。

今年度の経営所得安定対策では、5月15日から6月30日までの期間中、大館市農業再生協議会を經由して1,230件の加入・交付申請がありました。これらの申請に基づく支払額は、米の直接支払交付金が1億7,500万円、水田活用の直接支払交付金は戦略作物と産地交付金を合わせて8億8,400万円、畑作物の直接支払交付金が2,800万円と総額は10億8,700万円となる見込みであります。市単独事業の耕作放棄地発生防止作付推進事業では、重点戦略作物等作付支援

事業に60経営体が取り組み、作付拡大面積は83ヘクタールで前年度比13ヘクタールの増加、また、飼料用米等作付支援事業には274経営体が取り組み、作付面積は745ヘクタールと前年度比で21ヘクタール減少したものの、米の需給改善と農業経営の安定に寄与したものと考えております。

#### 10、サテライトオフィス事業の結果報告等について。

本年4月からベニヤマ自然パーク内のコテージにおいて実施していたサテライトオフィス事業は、9月末をもって終了いたしました。3大都市圏のIT企業などに大館の自然豊かな環境でのテレワークという新しい働き方を提案したところ、獲得企業数が採択10団体の中で最も多い71社、お試し勤務延べ日数が2番目に多い322日となるなど、大きな反響を得ることができました。また、ウェブデザインやシステム開発、映像制作など、さまざまな業種の227人にお試し勤務をしていただき、温泉・郷土料理・秋田犬との触れ合いなど「おおだて満喫体験」の情報がインターネットやSNSで発信されるなど、大館のPRにも大きく貢献したものと考えております。今後は、誘致候補企業に対してフォローアップをしながら大館版誘致戦略に基づき、オフィス候補地の選定や運営方法の検討、国の支援メニューを活用した施設等の整備など、誘致に向けた具体的な取り組みを推進するとともに、IT人材を育成・確保する「人づくり」、サテライトオフィスの受け皿や情報交流の中核となる施設を整備する「場所づくり」、大学卒業生やAターン希望者などに新たな職種を提供する「仕事づくり」にも取り組んでまいりたいと考えております。

#### 11、シンガポール及びタイ王国トップセールスについて。

11月6日から12日までの7日間、シンガポール及びタイ王国でのトップセールスを行ってまいりました。最初のシンガポールで訪問したUWCインターナショナルスクールでは、IT情報学習の重要性について説明があり、日進月歩で進化している最新IT教育を本市にも取り入れることが急務であると実感いたしました。また、電通シンガポール支社への訪問では、アカウントディレクターの石坂氏、本市政策アドバイザーの百瀬氏と面談し市政へのアドバイスを受けたほか、県及び県内市町村と共同で観光物産PRを行う予定となっている商業施設を視察し、現況を確認してまいりました。一方、佐竹知事を団長とするタイ王国トップセールスでは、タイ王国政府観光庁と秋田県との交流趣意書締結式、アセアン地域秋田県人会交流会に出席し、タイ王国政府関係者やアセアン地域で活躍している秋田県出身者との意見交換を行うとともに、タイ王国と秋田の交流推進に努めてまいりました。また、旧大内町出身で「S. M. I. トラベル」代表の菊地氏と面談し「県をトップに関係市町村が連携、協力した観光PRは効果的である」との意見をいただいたほか、秋田犬を活用し、ほかにはない特色を出している本市を高く評価していただきました。バンコク市内の飲食店経営者など85人を招いての秋田牛と秋田の観光物産プロモーションでは、知事による秋田牛のプレゼンが行われたほか、私も秋田犬の紹介と忠犬ハチ公の物語を交えながら大館の観光をPRしてまいりました。また、大館ブースにお

いて「曲げわっぱ展示」「大館の地酒 北鹿3銘柄の試飲」「枝豆最中の試食」を行ったところ、これらの購入を検討したいとの申し入れが多くあったことから具体的なビジネスチャンスとして、市内企業や生産者の皆様に参入を促してまいりたいと考えております。今後も佐竹知事を先頭に、各自治体はもちろん、産業・経済・教育などの各分野が一体となって行動し、秋田犬という強力なコンテンツを持つ大館が秋田県全体の発展のために果たすべき役割を見きわめながら地域の発展につなげてまいりたいと考えております。

#### 12、一般社団法人秋田犬ツーリズムの活動状況について。

秋田犬ツーリズムは秋田犬動画を活用した観光誘致キャンペーンの内容や結果が評価され、これまで国際PR協会を初めとした3つの世界的なアワードを受賞しており、10月13日にはブルガリアで開催された国際PR協会の表彰式に中田直文会長が出席しております。一方、地域商社機能として取り組んでいる枝豆の加工品開発については、朝どりの枝豆をその日のうちに加工し、食味と健康にこだわった「HAPPY NATURAL FARM」というブランドを立ち上げ、販売拡大を図っております。国内外を対象とする商談会に出展したところ、オーストラリアの輸入事業者との取引が実現し、初めての輸出商品として「朝採れ枝豆のフリーズドライ」「枝豆の甘酒」「大豆のマヨ」を11月16日にオーストラリアに向けて発送したところであります。来年1月から2月にかけては、シンガポール・アメリカ西海岸での販売を予定しており、さらに農林水産省を通じてのロシアへの商品提案や、台湾・タイ王国・カタール国などの事業者からの問い合わせへの対応も進めております。

#### 13、3D連携事業の取り組み状況について。

##### (1)はこだてグルメサーカス2017。

9月2日、3日に開催された、はこだてグルメサーカス2017に今回初めて参加させていただき、本市・仙北市・小坂町合同の特設会場において、食を中心とした3D連携地域の魅力を発信してまいりました。オープニングのステージでは、大館食の祭典協議会によるきりたんぼまつりのPR、大館曲げわっぱ太鼓による演奏などで会場は大いに盛り上がりました。また、秋田犬保存会函館支部の御協力を得て行った秋田犬10頭による触れ合い会場には、風格があり、温厚で従順な秋田犬を一目見ようと長蛇の列ができ、2日間で約1,500人の人出でにぎわいました。

##### (2)3D連携フォーラムin角館。

9月29日、30日に仙北市で開催したフォーラムに、連携している4市町から約70人が参加しました。函館市の工藤市長による基調講演では「歴史・文化・自然・食など多彩な魅力を持つ東北の各県と連携することで新たな周遊ルートを形成でき、互いの地域における観光誘客が伸びる可能性がある」との提言がなされました。また、各首長らによるパネルディスカッションでは、各地域がそれぞれの強みを生かして広域的な観光客の流れをつくり、交流人口の拡大に取り組んでいくことを確認いたしました。

### (3)みなみ北海道・北東北食旅フェスタ in 仙台。

11月18日、19日に開催されたイベントに仙北市・小坂町とともに参加してまいりました。3D連携事業の今年度最後のイベントとなり、旅行商談会への参加や連携市町の紹介ビデオを放映して観光PRを行ったほか、きりたんぼ鍋のブースでは終了2時間前には完売するなど大盛況で多くの来場者に地域の魅力をアピールしてまいりました。

#### 14、秋季イベントの開催について。

##### (1)第45回本場大館きりたんぼまつり。

10月7日から9日までの3日間、ニプロハチ公ドームを会場に開催されました。「大館がウマイ3日間」を祭りのテーマとした今回は、本市の本場大館きりたんぼ店に加え、鹿角市と北秋田市のきりたんぼ店も出店し、それぞれの特色あるきりたんぼを味わっていただきました。期間中はあいにくの雨に見舞われましたが、ものまねタレントによるステージイベントなどで盛り上がったほか、初めて設けた市立総合病院の研修医による健康相談コーナーなどにも多くの方が訪れました。また、「文化の継承をALL大館で」のコンセプトのもと、大館ふるさとキャリア教育との連携など、多数のボランティアの御協力により、市民一丸となっておもてなしができたものと思っております。3日間の来場者数は過去最多の13万3,000人となり、この場をかりて実行委員会を初めとする関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

##### (2)田代地域のイベント。

10月14日、15日の2日間、ユップラ特設会場で第1回たしろきのご祭が開催されました。目玉のきのご鍋や地元の山菜・野菜などが並び、秋晴れのもと、田代地域の旬の味を求める多くの人でにぎわいました。また、15日には山瀬ダム多目的運動広場で第26回五色湖まつりも開催され、隣町の大鰐町から木田教育長を初めとする44人の御参加をいただき、登山囃子や餅つき、イワナのつかみ取りなども行われ、恒例のロードレースには市内外の小学生70人が参加しました。

##### (3)第20回大館圏域産業祭。

10月21日、22日の2日間、ニプロハチ公ドームを会場に開催され、地場産品を一堂に展示・販売する商工展・農業展や子供たちが各種イベントの運営に参加する産業教育展、ステージイベントなどに3万4,000人の来場者でにぎわいました。また、地域資源を生かしたコミュニティービジネスなどを広く周知する地域活力発見フェスタと小・中学生が地元企業のよさを学ぶ企業博覧会が同時開催されたほか、ことしも友好都市である茨城県常陸大宮市からの出店があり、同市の特産品やマスコットキャラクターが人気を集めておりました。

##### (4)きりたんぼまつり in 渋谷。

11月4日、5日の2日間、第40回渋谷区くみんの広場ふるさと渋谷フェスティバル2017が代々木公園で行われました。両日とも好天に恵まれ、きりたんぼなどの特産品を並べたブース前は行列ができるほどの大盛況でした。ステージでは、渋谷区との関係性や3D連携などを

説明しながら本市を強くアピールしたほか、はちくんや秋田犬も出演し、忠犬ハチ公のふるさと大館を前面にPRしてまいりました。また、イベント初日の夜には佐藤議長にも御出席いただき、長谷部渋谷区長を初めとする渋谷区関係者の皆様をお招きした渋谷区・大館市情報交換会を開催し、今後も忠犬ハチ公の縁をさらに深めていくことを確認したところであります。

#### 15、台湾での「農家民宿・体験型旅行セールス」について。

11月21日から25日までの日程で、大館市まるごと体験推進協議会が台湾でのインバウンドセールスを行いました。これは、秋田県と県観光連盟の主催による秋田県台湾旅行エージェンツ商談会に参加したもので高雄市を皮切りに、台中市・台北市の3カ所で開催され、本市での農業体験や農家民宿の魅力を存分にセールスしたところであります。ブースでは、本市の宝である秋田犬・きりたんぼ・曲げわっぱなどをPRするとともに、協議会が昨年度のJTB交流文化賞最優秀賞を受賞したことや、台湾から招いた人気ブロガー4人が大館での体験をSNS上で発信していることも紹介してまいりました。今後もトップセールスや秋田犬ツーリズムの活動で切り開いた台湾との関係を維持しながらインバウンド対応への課題整理や研修などを行い、台湾をメーンターゲットとした観光客の誘致に取り組んでまいります。

#### 16、とうほく街道会議交流会大館大会について。

10月13日、14日の2日間、とうほく街道会議第13回交流会大館大会が開催され、東北各地から200人を超える参加者がありました。この交流会は、東北各地を街道で結び、歴史や文化、風土、自然豊かな景観などの魅力を掘り起こし、街道を生かした地域づくり活動を学ぶとともに、新たな交流や連携を促すために開催されているものです。本市では羽州街道をキーワードに「歴まち 大館の明日を考える」をテーマとして開催いたしました。初日は、秋田大学の渡辺教授による秋田藩における大館の歴史的位置と題した基調講演の後、分科会では大館地方の交通史から新たな交流を探る鼎談に私も参加させていただいたほか、中村議員にも歴まち大館を担うパネルディスカッションに参加していただきました。2日目は、街道探訪会が行われ、羽州街道矢立峠と大館歴史まち歩きの2つのコースに、合わせて60人を超える参加がありました。好天にも恵まれ、天然秋田杉が美しい峠道や城下町の名残としての町並み、神社仏閣などの歴史遺産をめぐることで、市外からの参加者にも大館の魅力について理解を深めていただけたものと思っております。開催に当たり多大なる御支援・御協力をいただいた国土交通省初め関係各位に対し、この場をおかりして深く感謝申し上げます。

#### 17、博報賞の受賞について。

このたび、花岡小学校の「習う」から「学ぶ」へ児童主体の「花岡チャレンジ活動」が、民間の教育表彰として権威ある博報賞を受賞しました。今回、東北地方からは唯一の受賞となり、本市では釈迦内サンフラワープロジェクト、子どもハローワークに続き3度目の受賞となります。花岡小学校では、ふるさとキャリア教育を基盤とした教育活動を展開する中において、次期学習指導要領を先取りした主体的・対話的で深い学びに取り組み、特に児童の主体性にこだ

わったチャレンジ授業と、基礎・基本の定着を徹底するベーシック授業を組み合わせることによって、課題対応能力の育成と一人たりとも置き去りにしない教育を実現しております。受賞に当たっては、授業での児童の主体的な姿を、チャレンジフラワーストリートプロジェクトなど「花岡チャレンジ活動」に広げ、「失敗から学ぶこと」「リーダーシップ・フォロワーシップを発揮すること」「地域のためにできること」を通し、児童一人一人が主体性を存分に発揮できるようにすることにより、自立した未来大館市民の育成に取り組んでいると高く評価していただいたところであります。

#### 18、大館市生涯学習フェスティバルについて。

9月23日、24日をメインに10月までの2カ月間を生涯学習強調月間として、中央公民館や栗盛記念図書館など14会場で生涯学習フェスティバルを開催し、期間中1万2,000人を超える方々に御来場・御参加いただきました。メイン開催日の中央公民館では、ものづくりの体験コーナーがにぎわい、各サークルの作品や保育園児たちの絵も展示され、子供から高齢者まで日ごろの活動の成果を披露しました。また、今年度初の試みとなった松下村塾での女性限定の将棋教室が好評であったことから今後も新たな活動やイベントを提供し、市民が生涯学習に触れる機会を拡充してまいります。

#### 19、東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致に向けたタイ王国訪問について。

先ほどのタイ王国トップセールスにおいて、県とともに行った東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿の誘致活動について御報告いたします。今回は、秋田県とタイ王国スポーツ庁とのスポーツ交流に関する基本合意書締結式に同席し、本市を含む秋田県とタイ王国が今後スポーツを通じて交流していくことについて確認してまいりました。また、佐竹知事とともにタイ王国バレーボール協会を訪問し、2020年東京オリンピックにおける事前合宿地に選定していただけるよう要望するとともに、本市への現地視察の招待状をタイ王国バレーボール協会会長へ手渡してきたところであります。さらに、タイ王国パラリンピック委員会を訪問し、本市がパラリンピック参加選手団を受け入れる用意があることを伝えるとともに、タイ王国の障害者スポーツの動向や東京パラリンピックに向けた各競技団体の活動状況などについて情報交換を行いました。同委員会からは、本市が日本から初の訪問であることに謝意をいただき、東京大会ではタイ王国パラリンピック全選手団が同一場所での事前合宿を検討しているとのことでしたので引き続き情報交換してまいります。また、県からは今回の訪問が県のパラリンピック合宿誘致の突破口となったことに感謝されたところであり、今後は県が窓口となってタイ王国パラリンピック全選手団の受け入れを検討し、その際は受け入れ先として本市を最優先とすることで佐竹知事と確認したところであります。今後もタイ王国との交流を積極的に進めるとともに、県や各競技団体と連携を図りながら2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける事前合宿地に選定していただけるよう、誘致活動をさらに推進してまいります。

#### 20、スポーツイベント等の開催状況について。

10月1日、第4回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたランが男鹿市で開催され、本市からは2チームが参加し2区と6区で区間賞、総合で第3位と第6位というすばらしい成績を残すことができました。市では、来年鹿角市で開催されるこの大会に向けて、引き続きサポートしてまいります。また、10月7日から9日までの3日間、大館樹海ドームにおいて、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた機運醸成を目的に、オリンピックフラッグ及びパラリンピックフラッグを全国で巡回展示する東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアーが開催されました。本場大館きりたんぼまつりの期間と重なり、多くの来場者に2020年東京大会を身近に感じていただくことができました。

#### 21、総合病院における医師臨床研修マッチング結果について。

医師臨床研修マッチングは、平成16年度から導入された新医師臨床研修制度の実施に伴い、研修希望者と研修病院とを効率的に、かつ透明性を確保して組み合わせるためのシステムであり、ことしは10月に決定されました。県内では定員に満たない病院もある中で総合病院への第1希望応募者は10人、競争率1.25倍で県内トップとなり、最終的には募集定員8人に対して8人が決定し27年から4年連続のフルマッチとなりました。これにより30年度の臨床研修医は1年次8人、2年次7人の合計15人となる予定となっております。今後も地域医療を学ぶ研修医や若い医師の成長を応援する取り組みを推進し、さらに各大学との関係づくりに努めながら医師不足の解消や医師業務の負担軽減につなげてまいりたいと考えております。

#### 22、扇田病院での外来診療費着服事件について。

本年6月に扇田病院で発覚した外来診療費着服事件につきましては、これまで被害金の全額回収を最優先に考え、受託業者2社に対し損害賠償を求めて交渉を重ねてまいりました。その結果、1社からは全額支払いの同意が得られ、今後、利息分に係る損害金などについて交渉を進めることとしております。残る1社については、同意を得られなかったため裁判所に判断を委ねることとし、弁護士に委任して民事訴訟の手続を進めてまいりましたが、先ほど本日付で提訴した旨の報告を受けたところであります。一方、刑事捜査に対しましては、既に警察に領収書控え等の関係資料を提出しており、引き続き一日も早い事態の收拾に向け全面的に協力してまいります。また、扇田病院では収納金の管理を厳正化するため、レジスターの操作者履歴や、つり銭機の稼働履歴などを確認できる収納POSレジシステムを11月20日に導入し、セキュリティの強化を図ったところであります。

続きまして、提出いたしました議案等につきまして主な内容を御説明申し上げます。

**報第17号**は、専決処分<sup>1</sup>の報告についてであります。

これは、本年10月12日にたしろ保育園敷地内において、強風により動いた門扉と小型乗用自動車<sup>2</sup>が接触し当該車両の一部を破損させた事故についての専決処分<sup>1</sup>であります。この事故につきましては誠意を持って解決に当たり、相手方と和解に至ったことから地方自治法第180条第1項の規定による議会の指定した事項として、専決処分<sup>1</sup>させていただきましたので御報告申し

上げるものであります。

**認第6号**は、平成29年度大館市一般会計補正予算（第6号）に係る専決処分の承認についてであります。

これは、9月28日に衆議院が解散したことに伴う衆議院議員総選挙の執行に係る関連経費3,776万9,000円を追加したものであります。この補正につきましては、特に緊急を要したことから9月29日付で専決処分させていただいたものであります。

**認第7号**は、平成29年度大館市病院事業会計補正予算（第2号）に係る専決処分の承認についてであります。

これは、扇田病院で発生した外来診療費着服事件において、損害賠償の求めに応じない業者に対し民事訴訟を提起するため、早急に手続を進める必要がありましたことから関係予算476万3,000円の追加について、10月25日付で専決処分させていただいたものであります。

**議案第96号**は、大館市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、地方公務員の育児休業等に関する法律等の一部が改正され、非常勤職員の育児休業期間について、特に必要と認められるときは子供が2歳に達する日まで延長できるものとされたことなどからその要件を条例で規定する必要があるため、本市においても所要の措置を講じようとするものであります。

**議案第97号**は、大館市市税条例の一部を改正する条例案であります。

これは、平成29年度分までの賦課及び徴収をもって都市計画税を廃止するため、所要の措置を講じようとするものであります。

**議案第98号**は、大館市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案であります。

これは、介護保険法施行規則の一部改正に伴い変更された主任介護支援専門員の定義について、所要の措置を講ずるとともに一部条文の整備をしようとするものであります。

**議案第99号**は、大館市農業集落排水施設に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、沢尻地区の農業集落排水施設を廃止し、その利用区域を十二所北地区の施設に統合することに伴い、所要の措置を講ずるとともに一部条文の整備をしようとするものであります。

**議案第100号**は、大館市就業改善センターに関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、条例で引用する農村地域工業等導入促進法の題名が改められたことから所要の措置を講ずるとともに一部条文の整備をしようとするものであります。

**議案第101号**は、大館市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案であります。

これは、道路法施行令の一部改正により、国道に係る占用料の額が改定されたことから本市においても国に準じ、所要の措置を講じようとするものであります。

**議案第102号**は、大館市営住宅管理条例の一部を改正する条例案であります。

これは、老朽化した市営東台住宅を廃止しようとするもののほか、公営住宅法施行令等の一



部が改正されたことに伴い、所要の措置を講ずるとともに一部条文の整備をしようとするものであります。

**議案第103号から議案第106号までの4件は、公の施設の指定管理者の指定についてであります。**

これは、指定管理の期間が本年度末をもって終了する施設について、平成30年4月からの指定管理者を指定しようとするものであります。

**議案第107号は、市道路線の認定についてであります。**

これは、大館市開発指導要綱に基づく宅地造成に伴い築造された道路を市道に認定し、管理しようとするものであります。

**議案第108号は、大館圏域定住自立圏形成協定の締結についてであります。**

これは、国の定住自立圏構想推進要綱の規定に基づき、小坂町との間で大館圏域定住自立圏形成協定を締結しようとするものであります。

**議案第109号は、平成29年度大館市一般会計補正予算（第7号）案であります。**

今回の補正は、歳入歳出とも7億3,352万4,000円の追加で補正後の予算総額は355億5,959万円となる見込みであります。主な内容としましては、ふるさと応援寄附推進事業費やあきた未来づくりプロジェクト等事業費、二ツ山総合公園整備事業費などを追加したほか、公共施設の耐震対策として、大館郷土博物館耐震改修事業費などを追加するものであります。

また、第2条第2表にハチ公の駅（仮称）建設事業に係る継続費の設定を、第3条第3表に繰越明許費の補正、第4条第4表に基幹業務システム更新事業などに係る債務負担行為の補正、第5条第5表に地方債の補正をそれぞれ御提案申し上げます。

**議案第110号は、平成29年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）案であります。**

主な内容としましては、保険給付費を追加し国・県支出金等、所要の歳入の補正を行うものであります。

**議案第111号は、平成29年度大館市介護保険特別会計補正予算（第2号）案であります。**

主な内容としましては、制度改正に対応するためのシステム改修費を計上するほか、地域支援事業費を追加するものであります。

**議案第112号は、平成29年度大館市病院事業会計補正予算（第3号）案であります。**

最初に、収益的収入及び支出であります。補正後の予算総額は収入では113億396万1,000円、支出では114億1,052万5,000円となる見込みであります。

このほか、第3条に経費の流用に関する事項の変更をお願いしております。

議案等の概要につきましては、以上であります。よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。（降壇）

---

○議長（佐藤久勝君） これより、ただいまの上程議案等に対する質疑に入ります。

御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（佐藤久勝君） なしと認め、質疑を終結いたします。

---

○議長（佐藤久勝君） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

次の会議は、12月4日午前10時開議といたします。

本日は、これにて散会いたします。

午前10時59分 散 会

---